

外国語活動 学習指導案

学校名 坂町立坂小学校

授業者 T1 パワーアップリーダー 村上 康恵

T2 JALT 二反田祥子

T3 HRT 野村 麻衣

- 1 日時 平成31年1月23日(水)
- 2 学年 第5学年 1組 29名
- 3 単元名 We can!1 Unit7 「Where is the treasure?」
位置と場所
- 4 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領解説 外国語編(平成29年7月)における英語(3) 話すこと[やり取り]「ア 基本的な表現を用いて指示, 依頼をしたり, それらに応じたりすることができるようにする。」に基づいて指導する内容である。

本単元 We can!1” 「Unit7 Where is the treasure?位置と場所」では, 方向や動きを指示する表現を使って物の位置を表したり, 道案内をしたりすることをねらいとしている。地域にある建物を表す英語表現に慣れ親しむことは, 異文化に対する理解を深めることにつながる。また, 情報を聞いたり伝えたりというコミュニケーション場面は実生活の中で役立つと考えられる。位置や場所を表す場合には, 相手との積極的なコミュニケーションが必要となってくる。相手に十分に内容を理解してもらおうという目的意識とともに, 確認・繰り返し・強調・会話のスピードなど相手を意識した会話の工夫を促すことができる。自分の説明や案内が相手に理解してもらえた, 相手の説明や案内が理解できたという双方向のやり取りを重ねることで, コミュニケーションの楽しさや自己有用感を味わうことができる単元である。

- 本学級の児童は, 1年生より年間10時間ほど国際理解の中で外国語の学習を実施してきている。第5学年になってからは, “Hi, friends! 1” 「Lesson 4 すきなものを伝えよう」 「Lesson 5 すきなものは何?」 “We can!1” 「Unit1 自己紹介」 「Unit 3 学校生活」などの学習をしてきた。学習を通して, 身近な人とやり取りをする中で, 伝えようとしていることが伝わった喜びを感じる経験を重ねてきた。

9月中旬に行った意識調査では, 「外国語の授業に進んで参加しています。」の項目にほとんどの児童が肯定的に答えた。しかし, 「英語でやり取りをする時には, 相手の言ったことにうなずいたり, 英語で返事したりしています。」の項目では, 否定的にとらえている児童が約2割いることから, [やり取り]の中で相手の話す内容を聞き取る際には, うなずいたり, 繰り返したり, あいづちを打ったりしながら聞く姿が, 相手を尊重することにつながることを実感させていく必要がある。

自分が伝えたいことがしっかりと伝わるための工夫や相手を意識した聞き方を意識しなければしっかりと情報を共有できないという場面を設定することで、より相手を意識する態度の育成にも繋げたい。

- 指導に当たっては、町中にある建物の表し方を通して、日本語と英語の音の違いに気付かせる。位置関係を表す前置詞 (on, in, under, by) を体感させるために、実際に具体物を動かしながら位置関係を確認する活動を繰り返し行っていく。

次に、相手を意識したコミュニケーションを図るためにグループで道案内・宝物探しをする活動を行う。教室を町に見立て、ある建物から指定の建物までの道案内をペアで交互に[やり取り]をしながら進んでいく。

[読む活動]を促すために、それぞれの目的地にあるカードを見付け、そこに書かれている宝物のつづりから、活字体で書かれた文字の形の違いを識別し、文字から音につなげたり、アルファベットの音の並びから単語を推測したりする。その後、宝物が何だったかをグループで聞き合う活動を取り入れる。

[書く活動]では、宝物の名称を単語リストの中から選んで書き写す活動を取り入れる。その際には、書くときのポイントを提示することで、英文を書く時のきまりや言語や文化に対する気付きを促したり、書いた後の見直しに役立てたりする。

最後に、坂小校区を簡略化した地図を使いながら、校区内にある建物についての案内をする活動を行う。身近にある建物を扱うことで、より実践的なコミュニケーション能力の育成が期待できると考える。

5 単元の目標

- 積極的に道を尋ねたり、道案内したりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- 目的地への行き方や、物の位置を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

- 簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

- 英語と日本語では建物の表し方が違うことに気付く。 【言語や文化に関する気付き】

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する 気付き
積極的に道を尋ねたり, 道案内したりしようとしている。	①目的地への行き方や, 物の位置を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。 ②簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。	英語と日本語では建物の表し方が違うことに気付いている。

7 単元のゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	坂町に来られた外国の方々に, 町をよく知ってもらうために, 目的地への行き方や物の位置を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しみ, 積極的に道案内をしようとする。
目指す発話例	A: Hello. B: Hello. A: Where is the post office? B: OK. Go straight for one block. Turn right. Go straight. You can see it on your left. Are you OK? B: I'm OK. I see. Thank you. A: You're welcome. B: Have a nice day!

8 言語材料 (下線は新出表現, 語彙)

主な表現	主な語彙
<u>Where is the treasure?</u> Go straight (<u>for three blocks</u>). Turn [right / left] (<u>at the third corner</u>). <u>You can see it on your [right / left]</u> . What is the treasure? It's a (book). Are you OK? I see. Have a nice day.	(身の回りの物) cup, basket, bat, castanets, compasses, dice, glasses, globe, glove, map, mat, piggy bank, wall, whistle, yo-yo (施設・建物) fire station, gas station, police station, post office, hospital, supermarket, convenience store, department store, park (その他) treasure, block, in, on, under, by, corner, アルファベット大文字 あいさつ 数

9 単元計画(全3時間)

時	目標 (◆)・主な活動, やり取り等	評価規準・評価方法	表現例
1	<p>◆文字とその音が分かり, ある物が置かれた位置を表す表現を知る。</p> <p>◆建物の言い方を知り, 日本語と英語の音の違いに気付くとともに, 目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>★Small Talk(物の位置, 方向)</p> <p>○【Let's Chant】</p> <p>○ポインティングゲーム</p> <p>○【Let's Listen2】</p> <p>○【Let's Listen3】</p>	<p>英語と日本語では建物の表し方が違うことに気付いている。</p> <p>【気】行動観察 振り返りカード</p>	<p><u>Where is the ~?</u></p> <p><u>It's (on,in, by, under)</u></p> <p><u>the ~.</u></p> <p><u>Go straight.</u></p> <p><u>Turn (right, left).</u></p>
2 【本時】	<p>◆目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。</p> <p>★Small Talk(道案内)</p> <p>○【Direction game】</p> <p>○【Activity】道案内</p> <p>○【Let's Read and Write】 音声で繰り返し練習した後, ワードリストから言葉を選んで書き写す。(例) It's a (book).</p>	<p>建物などの言い方や目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現を使って道案内をしている。</p> <p>音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。</p> <p>【慣】行動観察 【本時】</p>	<p>Where is the ~?</p> <p>Go straight <u>for one block.</u></p> <p>Turn (right, left) <u>at the first corner.</u></p> <p>Are you OK?</p> <p>I see.</p> <p>Thank you.</p> <p>You're welcome.</p> <p><u>Have a nice day.</u></p>
3	<p>◆積極的に道を尋ねたり, 相手意識をもって道案内したりしながら, 坂小学校区の道案内をする。</p> <p>★Small Talk(坂小校区を簡略化した地図を用いての道案内)</p> <p>○【Let's Chant】</p> <p>○【Let's Listen4】</p> <p>○【Activity】坂小学校区の道案内</p> <p>○単元の振り返り</p>	<p>積極的に道を尋ねたり, 道案内したりしようとしている。</p> <p>【コ】行動観察 【気】振り返りカード</p>	<p>Where is the ~?</p> <p>It's (on,in, by, under)</p> <p>the ~.</p> <p>Go straight <u>for one block.</u></p> <p>Turn (right, left) <u>at the first corner.</u></p> <p>Are you OK?</p> <p>Thank you.</p> <p>You're welcome.</p> <p>Have a nice day.</p>

10 本時の学習

(1) 本時の目標

- 建物などの言い方や目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現を使って道案内をする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 【外国語への慣れ親しみ】
- 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測しながら読む。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 【外国語への慣れ親しみ】

(2) 本時の評価規準

- 建物などの言い方や目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現を使って道案内をしている。
- 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測しながら読んでいる。

(3) 本時の展開

児童の学習活動	指導者の役割			指導上の留意点等 ◆評価
	T1	T2	T3	
<p>【Greeting】 1 あいさつをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>L: Stand up. Let's start English! Sit down.</p> </div> <p>【Warm up】 2 ペアトークを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>お題: できること Can you swim? Yes, I can./ No, I can't.</p> </div> <p>【Let's Watch and Think】 3 スモールトーク 指導者のやり取りから、本時の表現をつかむ。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>T1: Hello! T2: Hello! T3: What's the date today? What day is it today? How's the weather today? How are you? 5ポイントの確認</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; vertical-align: top;"> <p>・1分間で行うことを伝える。</p> </div> <div style="width: 45%; vertical-align: top;"> <p>・スモールトークを見せる。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>(Part1) A: Hello. B: Hello. A: Where is the post office? B: OK. Go straight for one block. Turn right.</p> </div>			<p>・日付・曜日・天気 の表現はリピートさせる。</p> <p>・既習表現を用いたやり取りを行い、表現の復習と定着を図る。</p> <p>・既習表現をまとめたカードを使ってもよいことを伝える。</p> <p>・やりとりからどのような場面での会話なのかをイメージしやすいようにする。</p> <p>・話題は何かを確認する。</p>

	<p>You can see it on your left. Are you OK? B: I'm OK. I see. Thank you. A: You're welcome. B: Have a nice day! A: Have a nice day!</p>	
<p>【Today's Aim】 4 めあてを確認する。</p>	<p>(Part2) A: I got the treasure! B: What is the treasure? A: dog (フォニックスで読む。) It's a dog. B: That's nice!</p>	<p>・本時の学習内容や流れを確認することで、見通しをもって取り組めるようにする。</p>
<p>Today's Aim 目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現を使って道案内をしよう。 目的地にあるカードを見付け、宝物は何かを読んでみよう。</p>		
<p>【Direction game】 5 方向ゲームをする。</p> <p>【Activity】 6 小グループの中でペアを作り、目的地までの道を尋ねる人と案内する人に分かれて活動する。</p> <p>目的地にあるカードを見付け、音から単語の読み方を推測する。</p> <p>7 宝物が何であったか</p>	<p>相手にわかりやすく伝えるためのポイントを確認する。 ・ gesture ・ reaction</p> <p>(例) A : book B : drum C : watch D : cat</p> <p>A: What is the treasure? B: It's a book. A: I see.</p>	<p>・指示に従って動作をさせる。</p> <p>・出発地と目的地を確認してから活動させる。</p> <p>◆建物などの言い方や目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現を使って道案内をしている。(行動観察)</p> <p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測しながら読んでいる。(行動観察)</p> <p>・支援が必要な児童については、教員</p>

<p>をグループで聞き合 う。 ワードリストで宝物 を確認する。</p> <p>【Let's Read and Write】</p> <p>8 音声で繰り返し練習 した後、それぞれの宝 物をワークシートに 書く。 ペアできまり (①の み) を確認する。</p>			<p>・5ポイント を意識さ せる。</p>	<p>とペアになって 活動する。</p> <p>・選択部分はワーク シートの単語リ ストから適切な 語を選んで書き 写すようにする。</p>
<p><u>It's a (book).</u> 《Word list》 1: book 2: cat 3: drum 4: dog 5: fish 6: hat 7: lemon 8: notebook 9: pig 10: rabbit 11: tree 12: violin 13: watch 14: box 15: yacht</p>				
<p>【Reflection】</p> <p>9 ふり返りを行う。</p> <p>【Notice and Closing】</p> <p>10 次時の予告を聞き、挨拶をする。</p> <div data-bbox="178 1458 539 1603" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>L: Stand up. Let's finish English!</p> </div>	<p>・次時への見通 しをもたせ る。</p>		<p>・今日のふ り返り(め あてと5 ポイント) を行う。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T1: See you! T2: See you! T3: See you!</p> </div>				

(4) 板書計画

5 Points の揭示	Today's Aim	January 23th Wednesday sunny
単元の流れ	目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現を使って道案内をしよう。目的地にあるカードを見付け、宝物は何かを読んでみよう。	案内図(宝探し)
授業の流れ	Key phrases (道案内) Where is the post office? Go straight. Turn right. You can see it on your left. Have a nice day! (宝探し) I got the treasure. What is the treasure? It's a dog.	
		書くときのきまり